

令和 6 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	19	学 校 名	静岡県立沼津西高等学校	記 載 者	鈴木 康之
------	----	-------	-------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	主体的な学びを通して、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を有する生徒を育成する。	・「自分の進路目標実現に向けて、主体的に授業や家庭学習に取り組んでいる」と回答する 1 年生 60%以上、2 年生 70%以上、3 年生 90%以上 ・「自分の意見や考えたことを表現したり伝えたりする力が付いている」と回答する生徒 80%以上 ・授業参観や校内研修を通して「自分の授業改善に取り組んだ」と回答する教員 100% ・「朝読書が充実した」と回答する生徒 90%以上	B	B	・是非自己肯定感を高め自信を持てるようになってほしい。自信を持つことがコミュニケーション力、表現力、説明力、自己アピール等にもつながるのではないかとと思う。 ・進路目標実現のための主体的な学びの割合が 1 年から 3 年にかけて増加していくのはよいが、3 年生の 66%はもう少し高いといいかもしれない。 「自分の意見や考えたことを表現したり伝えたりする力が付いている」と回答する生徒が 68.6%では低い。 ・自己表現の仕方について、探究発表を見ていても、かなり個人差があるように感じました。苦手な生徒に対しての指導をお願いします。 ・目標値と成果値の数字にはあまり気にすることはないと思う。教員の方々の授業改善が取り組まれているが、それは評価できる。精製型の努力が生徒に伝わっているのか、いま一步検討が必要。朝読書への取組を今後も継続を望む。生徒が本を購入するのは良い活動である。生徒の本への意識を高めていただきたい。 ・朝読書、模擬投票、球技大会、保育実習、千本小児童への読み聞かせ、潮音祭など数多くの体験学習を行うことで学友や地域住民とのコミュニケーションにより育成が充実していた。
イ	社会的自立に必要な資質・能力と豊かな人間性及び帰属意識を涵養する。	・「毎日の健康観察を含め、心身の健康保持に努めた」と回答する生徒 90%以上 ・「気持ちのよい挨拶ができる」と回答する生徒 80%以上 ・「服装はいつもしっかりしている」と回答する生徒 90%以上 ・「クラス、学年、学校のために活動し、役に立ったことがある」と回答する生徒 90%以上 ・県大会以上出場部活動 15 部活以上	B	B	・挨拶はよりよい人間関係を築く基本。自分から明るく元気に挨拶する習慣を付けて欲しい。部活の廃部、減少は残念。部活動から得られる達成感、また協調性、持続力、忍耐力等も養われるのではないだろうか。 ・クラス、学校のために役立ったことがある生徒の割合があまり高くなく、地域への繋がりも多くなく、「社会的自立」という点では、改善の余地があるだろう。 ・健康維持、挨拶、服装、「クラス、学年、学校のために活動し、役に立ったことがある」と回答する生徒の割合が低い。自己評価は信頼度がどれくらいあるのか？ ・他校に比べて、来校者に対しての挨拶が素晴らしいと思います。服装はきちんとしています。 ・コロナ禍を過ごしてきて、少し緊張が緩くなるのは仕方ないと思うが、集団生活の中で、守るべきことは高校生としての意識をしてもらいたい。西高の環境を考えると、災害への意識は自然と持たざるを得ない。西高だからこそ災害への対応をしっかり学んで卒業後

様式第 5 号

		・「興味を持って主体的に部活動に取り組んでいる」と回答する生徒 80%以上 ・部活動再編に向けた検討を進める。			も地域で行かせる力をつけてもらいたい。 ・生徒全体への指導が行き届いているためなのか、生徒の服装や行動は清潔感がある。生徒自身は正しい生活習慣と勉強や運動が身についていると感じる。生徒の意識は高められていないようだ。
ウ	高い志とチャレンジ精神を育み、自己実現を支援するキャリア教育を実践する。	・進路目標が明確な 1 年生 70%、2 年生 80%、3 年生 90% ・「進路行事が有意義だった」と回答する生徒 70%以上	B	B	・幅広いキャリア教育を期待します。 ・どちらの解答も割合が低く、キャリア教育の改善が望まれよう。 ・3 年生が 76.3%なのは、低い。 ・高い志を持つために具体的な大学訪問等の機会を増やしていったらいかがでしょうか。 ・高校無償化が叫ばれる中、今後、生徒の勉強への意欲が保たれるのか心配しないではない。なぜ、高校の存在があるのか親も子供と共に深く意識してもらいたい。 ・探究学習や学習者育成プログラムを実施することでチャレンジ精神やキャリア教育の向上を進めている。
エ	芸術に対する関心・理解を深め、生涯を通じて芸術に親しみ愛する姿勢を育成する。	・「朝読書が充実した」と回答する生徒 90%以上・合唱コンクールや潮音祭がより充実した満足度の高いものであったと回答する生徒 80%以上 ・各専攻が企画する演奏会や展覧会、地域貢献活動等の目的や意義を理解し、「意欲的・主体的に取り組んだ」と回答する生徒 90%以上	B	B	・芸術科の生徒に片寄りがちに思うので、普通科の生徒の参加も増えるように。 ・地域、社会とのつながりの低さが表れているのだろう。 ・芸術科オンリーの高校ではありませんので、普通科とのコラボレーションを考えていただきたい。 ・高校生という人間形成途上で西高の環境はとても良いと思う。これまでの持っている実績を失うことなく生徒一人一人がその良さに気づいて高校生活を過ごしてもらいたい。バランスの取れた生活を目指してもらいたい。 ・年間を通して合唱コンクールや潮音祭に参加することで芸術の感受性だけでなく親族などの多くの人前で表現する機会を得られることは大きな財産と喜びとなる。演奏会や展示会なども開催しているので素晴らしい育成の一つと考える。
オ	地域の特色や課題及び異文化や多様性に対する理解を深め、探究的な態度やグローバルな視点で課題解決に取り組む力を育成する。	・「探究スキルが向上した」と回答する生徒 80%以上 ・国際交流を通して異文化、多様性への理解関心が深まったと回答する生徒 90%以上 ・「ボランティア活動や地域の活動に参加したことがある」と回答する生徒 70%以上	B	B	・多くの生徒に様々な体験の機会を作って欲しい。「課題」にあるように探究学習を基にした実践が有効であろう。 ・もっとボランティア活動を活発に P R して外部との「協働」を進めてもらいたい。 ・探究学習の一部を見学したが大変素晴らしい取組である。「テーマ」もおもしろいものが見られた。評価は難しかったが、これから未来に向けて A I 時代に生徒たちの将来を生かせる発表を選んだ。プレゼンの訓練としては最適。 ・クリーン作戦（千本松や海岸）の清掃活動を行い近隣地域の美化に取り組んだ。ボランティア活動など日常生活に絡んだ生徒が多いことは社会との関りが強い学校と考える。

様式第 5 号

カ	安全・安心な学校づくりと働き方改革を踏まえて、教育環境、施設を整備し、教育活動を充実させる。	・学校はいじめ防止等を含め「安心安全な学校づくりを推進している」と回答する保護者 80%以上 ・「防災避難訓練等により、防災に関する知識・技能が高まった」と回答する生徒 80%以上 ・「登下校の際、交通ルールやマナーを守れている」と回答する生徒 90%以上 ・定期的に施設点検を行い情報共有する。危険箇所については修繕の早期実現を目指す。 ・「担当業務において、内容の見直しを行った」と回答する教員 90%以上 ・時間外在校時間の縮減に努めた教員 80%以上	B	B	・安心、安全、いじめ防止は常に 100%を希望します。 ・コンプライアンス、特に人権についての啓発が重要であろう。 ・自転車通学の生徒が多いのですから、改正された道交法への真剣な取り組みを求めたいと思います。 ・避難訓練書への工夫をもっと発展させていくとよいのでは。 ・防災避難訓練の実施や交通ルールの指導を行っていた。自転車通学などのヘルメット着用を進めるようにした。
キ	効果的な情報発信により家庭や地域との連携を強化し、信頼される学校・開かれた学校を構築する。	・「生徒の成長を目指して、学校とPTAの連携が取れている」と回答する保護者 70%以上 ・「子供を入学させて良かった」保護者 80%以上 ・「学校行事の実施や広報活動により教育内容が説明されている」保護者 80%以上	A	A	・入学して良かった、入学させて良かったという回答に学校と生徒、保護者との信頼関係がしっかり築かれていると感じます。 ・いろいろな目でアデノ発信は大切であり、機能しているようだ。ただ、生徒間のSNSなどに関しては、より一層の配慮が必要となろう。 ・「情報発信」のレベルは格段に向上していると感じますが、まだまだ十分ではないと思います。 ・学校の存続が言われる中、不安な生徒たち、保護者もいると思われる。在校中、生徒が思い切り自分の力を伸ばせるように頑張ってもらいたい。 ・欠席等の連絡方法の新規取組や活用により情報協共有を実施していた。ホームページやインスタグラムによる多くの情報発信により生徒の活動が見え学校生活が確認できた。保護者からの評価が高いことはPTAとしても嬉しく思います。